

## 専門家のご意見（専門家会議・朝野座長）

## 【感染状況】

- ・ 感染状況について、資料 1-1 について特に気づいたことは、
  - 6 ページのデータから、同じく緊急事態宣言を早期に解除した福岡県で増加の傾向にないのは、変異株の関与も可能性として考えられる。
  - 15、16 ページから、これまでと同様 40 歳以下の若い世代が立ち上がっているが、別に集計した 7 日間の移動平均のデータからは、10 代、20 代の立ち上がりが先行していた。
  - 22 ページの夜の街滞在分類別の状況のうち、全体の陽性者の傾向と居酒屋・飲食店はよく相関するパターンを示しているし、最も数も多い。
- ・ 10 代、20 代の若い世代から増加が始まり、現在は幅広い世代に増加の傾向がみられることは、やはり、卒業シーズンや春休みの若者の行動によるものと考えられる。
- ・ その後の 30 代～60 代の増加は、送別会などの多人数の飲食の機会が可能性としては考えられ、居酒屋などの多人数の集まる飲食の場での傾向が全体の陽性者数の傾向と一致するのはそのことを表している可能性が指摘される。
- ・ これまでの経験から今後高齢の世代が増加してくるので、重症者が増加する。
- ・ 昨年状況では、推定感染日による感染者の推移では、3 月の末でピークをむかえていた。
- ・ 対策を立てれば、今年も昨年と同様であれば、4 月の初めまで陽性者が増加傾向を示し、その後減少に転じることが予想される。
- ・ 周囲の変異株の増加は著しく、既に半分を超えている（資料 1-2）実感がある。

## 【対策】

- ・ 増加の傾向は未だ鈍っていない。ステージⅢからⅣに向かっており、このままでは確実にⅣになる。そのため、緊急事態宣言の発令の前にまん延防止等重点措置の要請を行うことは妥当。
- ・ しかし、単に飲食店の時短の要請のみでは、現状とほとんど変わらず、増加傾向に対するブレーキの効果は乏しいと考えられるため、追加の有効な対策が必須である。
- ・ 対策の要点は感染の拡大防止と、高齢者に感染を広げないことである。
- ・ 感染力を増した変異株の拡大を想定して、時短に加えて感染拡大の収束まで、安全な飲食を行うことが必要。
- ・ 安全な飲食には、パーティション、換気、マスク飲食が対策としては有効。
- ・ パーティション、CO<sub>2</sub>モニターなどの設置の補助が可能なら望ましいと考える。
- ・ マスクに関してはヒトにうつさない感染予防と割り切って、感染対策上正しい装着でなくても、会話するときにはマスクをしてもらう、あるいはハンカチなどで口を覆うなどの対策を習慣とすることが重要。
- ・ 病院の院内感染のみならず高齢者施設や障害者施設への感染拡大を予防する対策が重要。
- ・ 高齢者や障害者施設の検査体制の整備、専門家の派遣などを強化して、クラスター対策を行うように具体的な対策が必要。